

個人投資家の皆さまへ

大和証券グループの経営戦略

2018年8月

株式会社大和証券グループ本社（証券コード：8601）

執行役社長 CEO 中田 誠司

Daiwa Securities Group Inc.

大和証券グループの経営戦略

目次

1. 大和証券グループの概要 3
 2. 中期経営計画の概要 10
 3. 社会への貢献 26
 4. 株主還元 31
- 参考資料 36

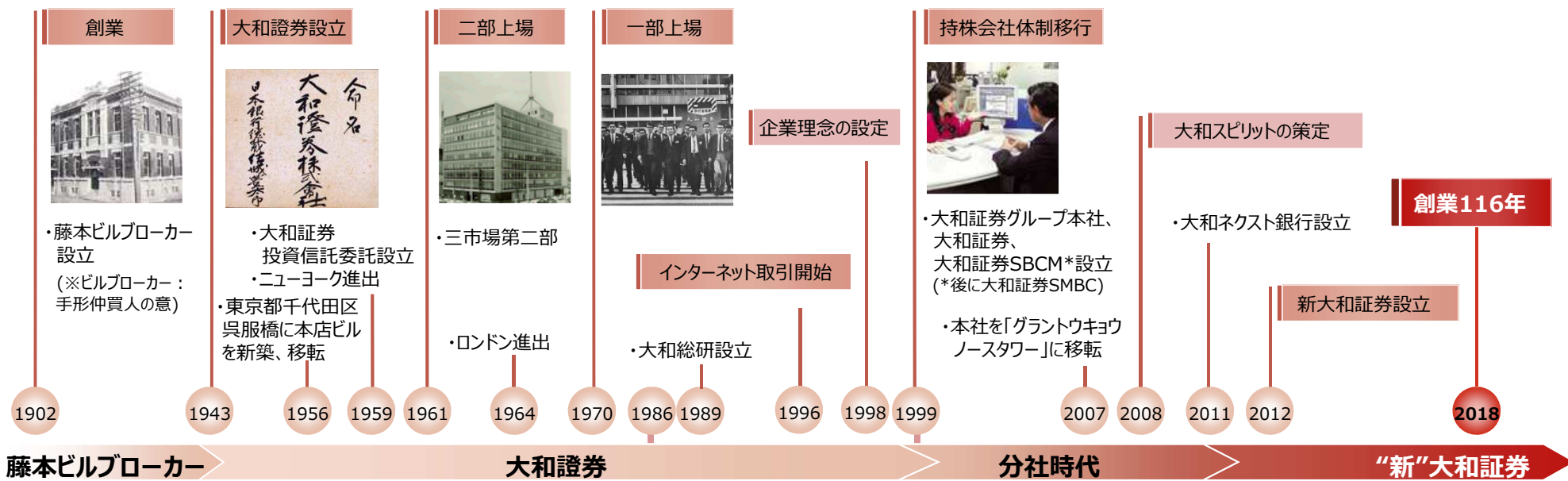
1. 大和証券グループの概要

Daiwa Securities Group Inc.

大和証券グループのあゆみ

1902年の創業以来、116年の歴史の中で培ったDNA

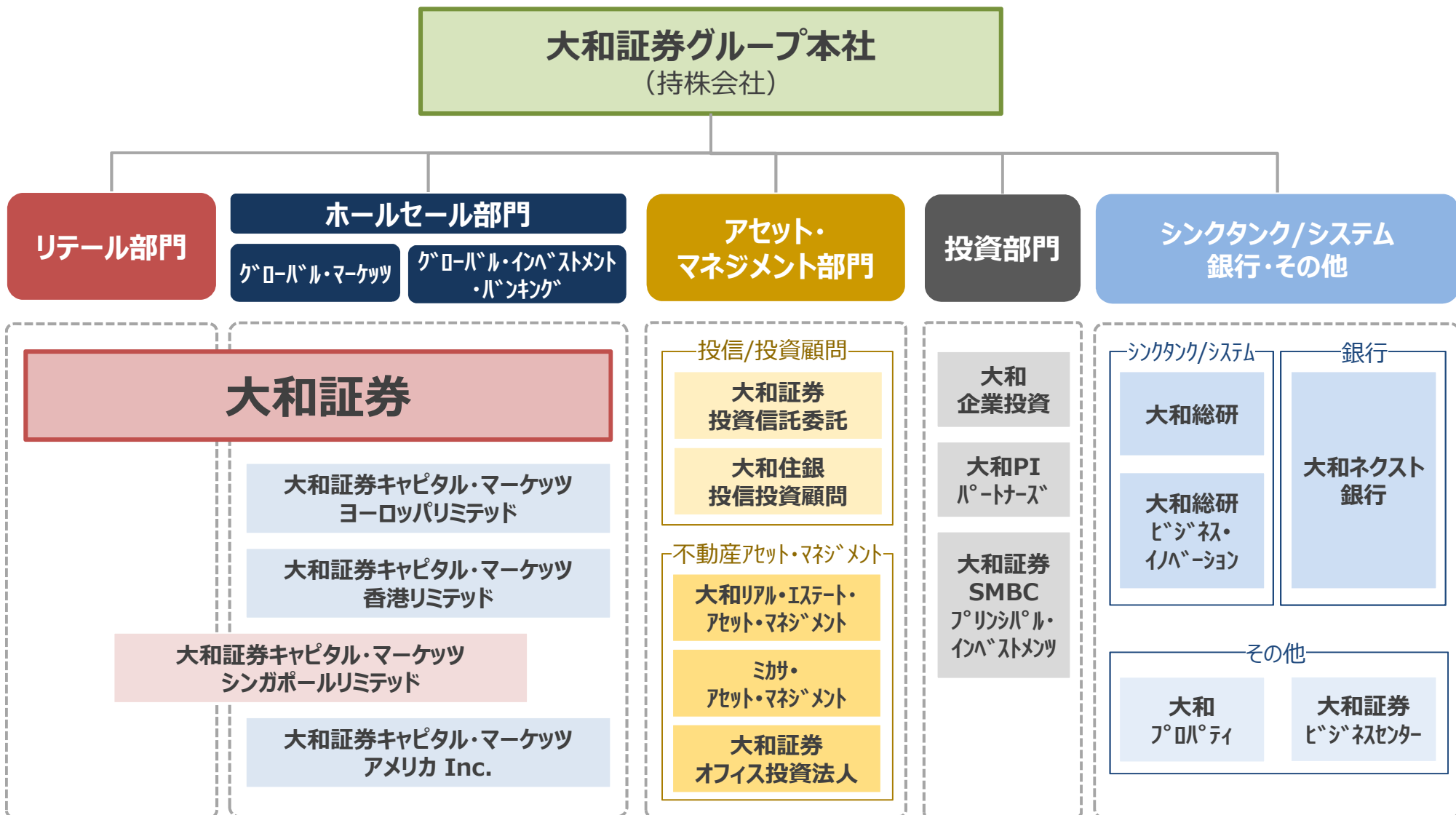
= 時代の先を行く先進的な取組みにより、資本市場の発展に貢献



■ 1986年 日本初のパソコンによるホームトレードサービスを開始

■ 1999年 日本の上場会社初の持ち株会社大和証券グループ本社を発足

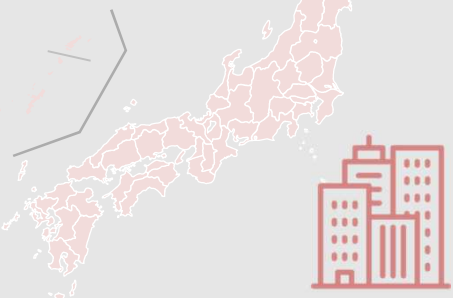
主要会社構成



数字で見る大和証券グループ

国内店舗数

155 店舗



預り資産
(大和証券)



67.6兆円

従業員数*



16,651人

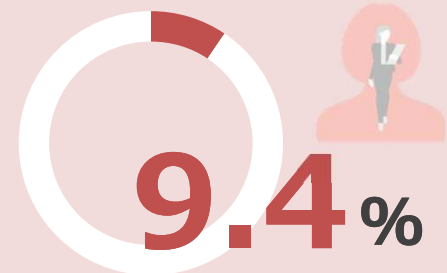
CFP
認定者数



746名

業界
No.1**

女性管理職比率



グローバル拠点所在地

世界**20**カ国・地域



就職人気ランキング
(東洋経済オンライン・2019年卒後半)

総合
順位 **4**位 金融
業界 **1**位

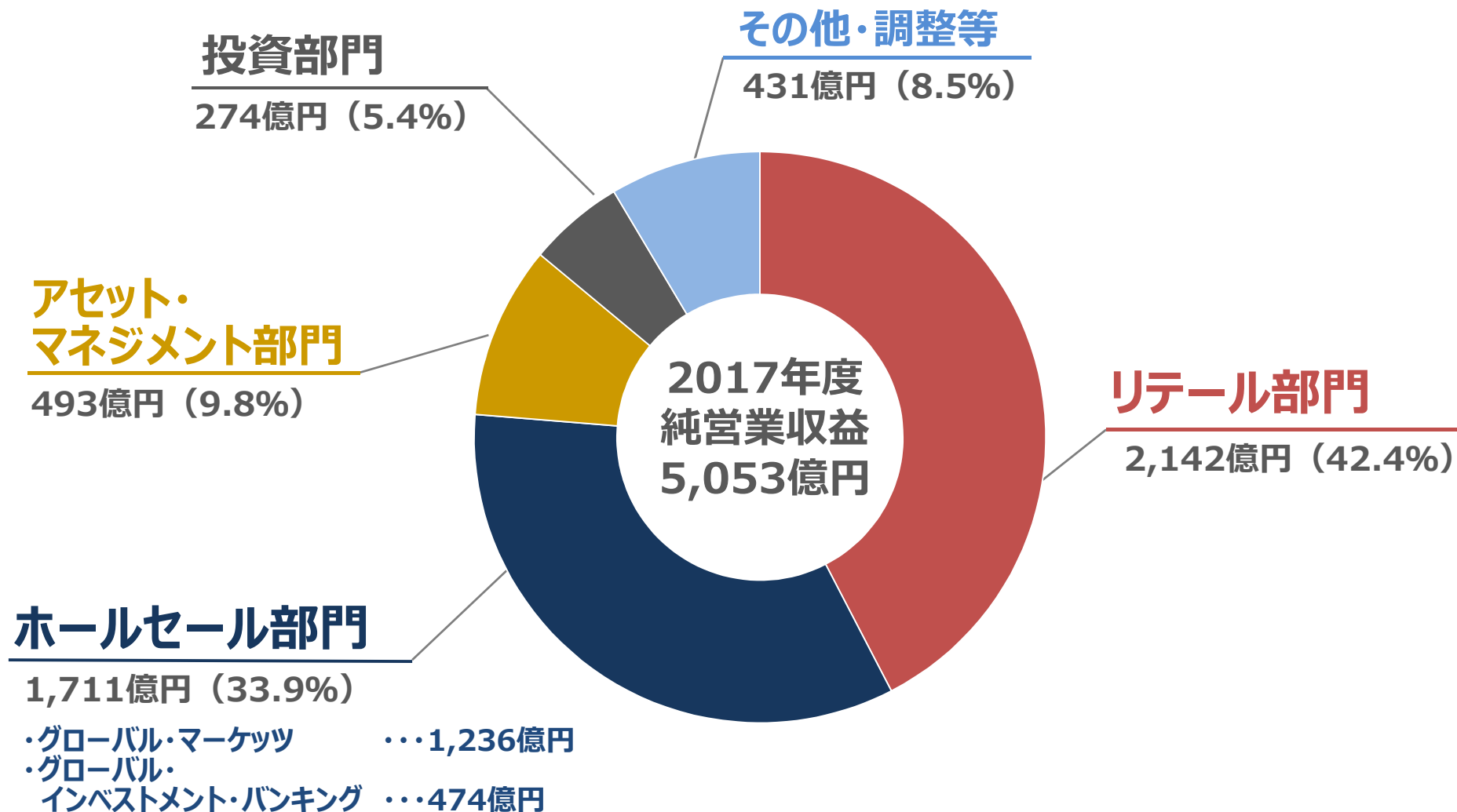


時価総額

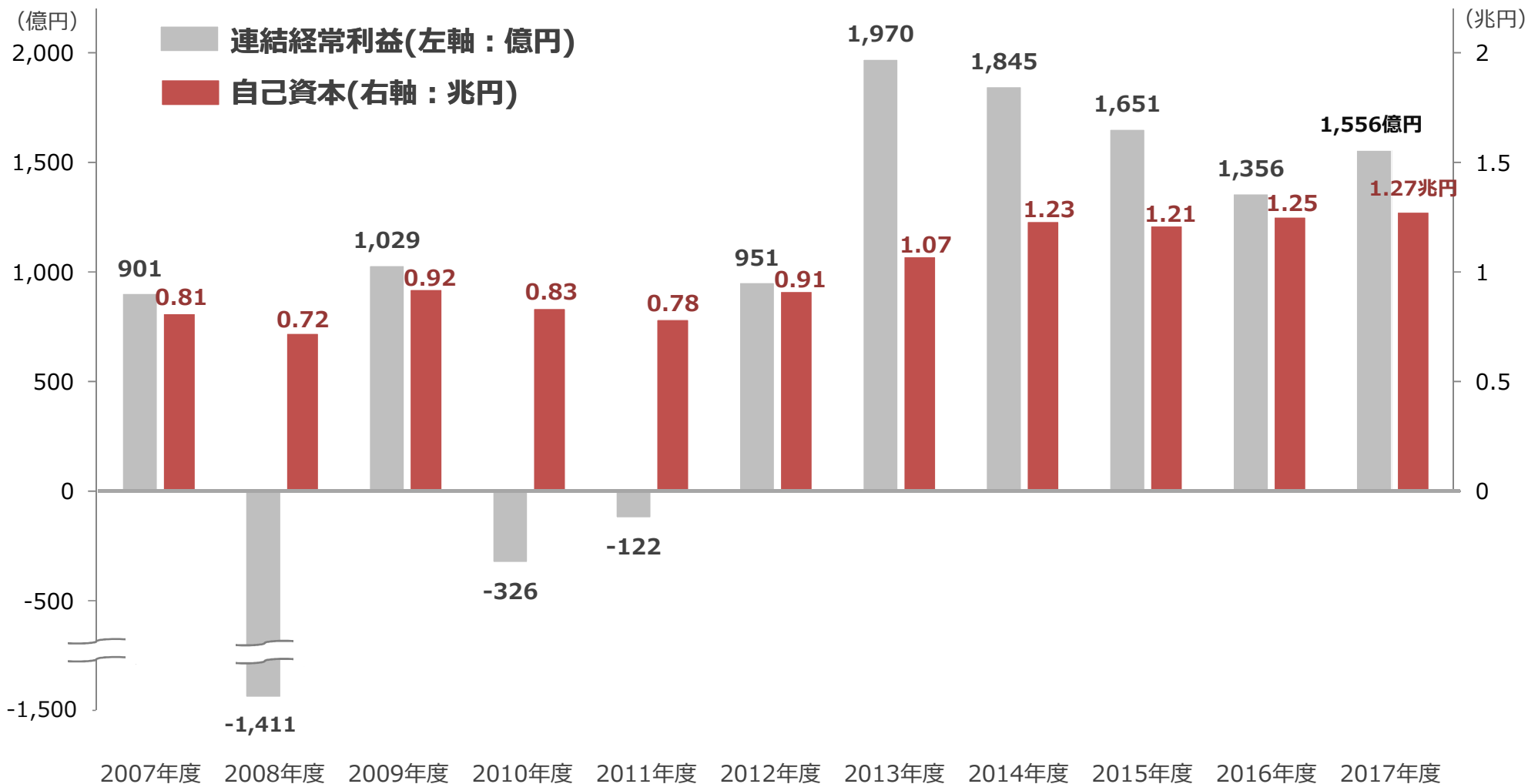


約**1.1**兆円

純営業収益構成比（部門別）



10年間の業績



大和証券グループの現状と課題認識

内部環境

強み

- 先進的な取組みを行なうDNA
- 豊富な人材
- 独立系証券としての経営の自由度
- 収益基盤の安定性
- 強固な財務基盤（高い自己資本規制比率）

等

課題

- 若年層のお客さま基盤の拡充
- 少子高齢化の進展への対応
- オンライン取引におけるマーケットシェア拡大
- グローバルなビジネス基盤の拡充
- テクノロジーの活用

等

外部環境

機会

- 人生100年時代の到来
- デフレ脱却による「貯蓄から投資」の本格的な進展
- AI、FinTech等、テクノロジーの進展
- 働き方改革（業務効率化・生産性向上）
- グローバル経済の緩やかな成長

等

脅威

- 人口減少による国内市場の縮小
- デフレの継続
- 異業種からの証券ビジネスへの参入
- 地政学リスクの高まり

等

2. 中期経営計画の概要

Daiwa Securities Group Inc.

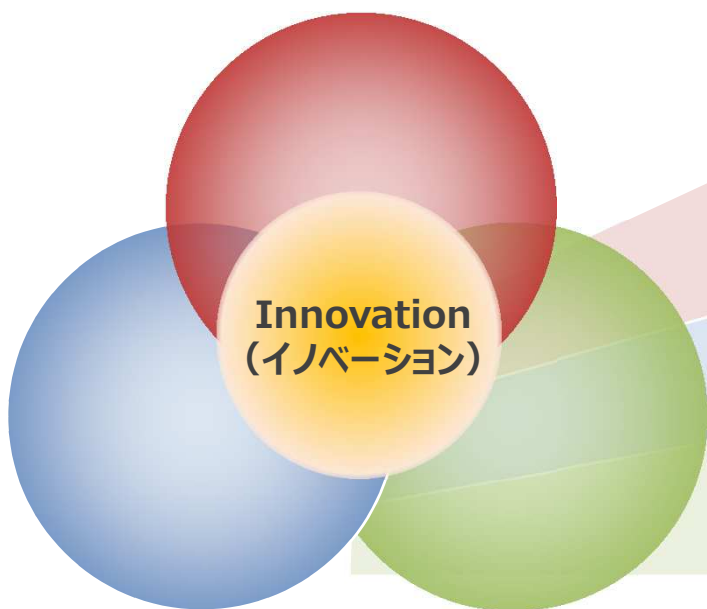
大和証券グループの目指す姿

中期経営計画（2018年度～2020年度） “Passion for the Best” 2020

未来を創る、金融・資本市場のパイオニア

① クオリティNo.1のコンサルティング力による
「付加価値」の高いソリューションの提供

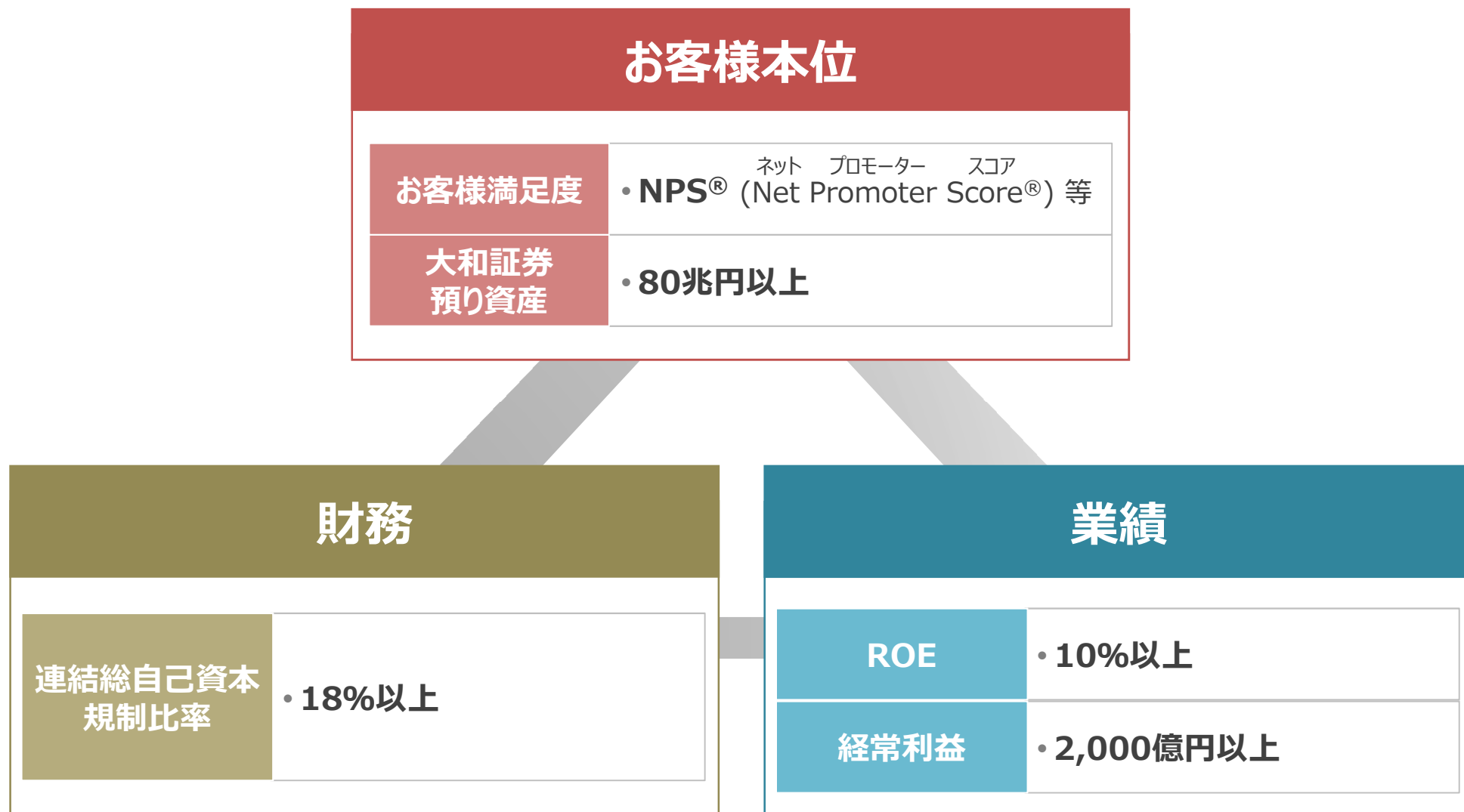
② ハイブリッド型総合証券グループとして
「新たな価値」の提供



<求められる要素 ～3つのP～>

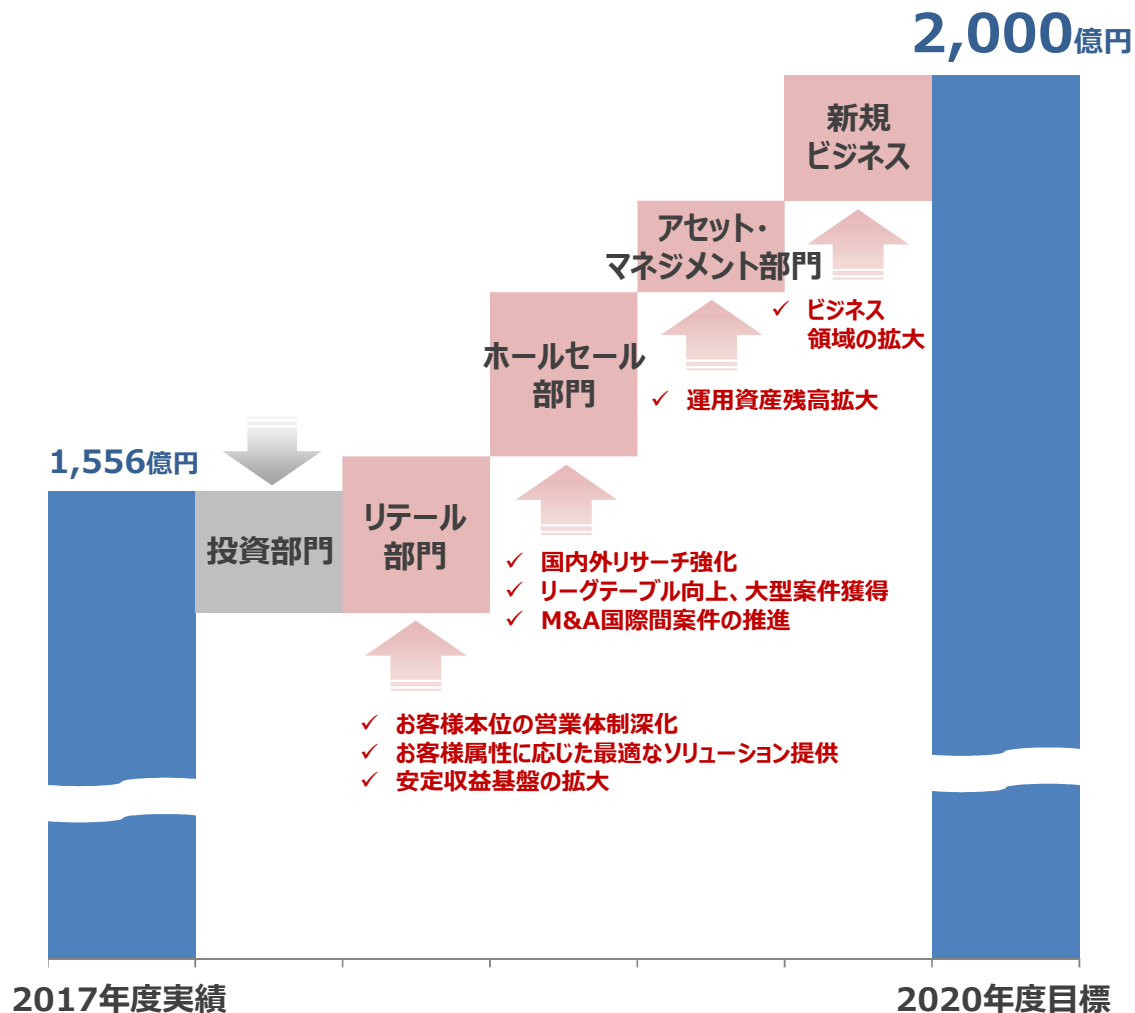
- 大和証券グループの **P**assion (情熱)
- 大和証券グループの **P**rofessionalism (高い専門性)
- 日本を含むアジアの **P**otential (潜在力)

中期経営計画の数値目標

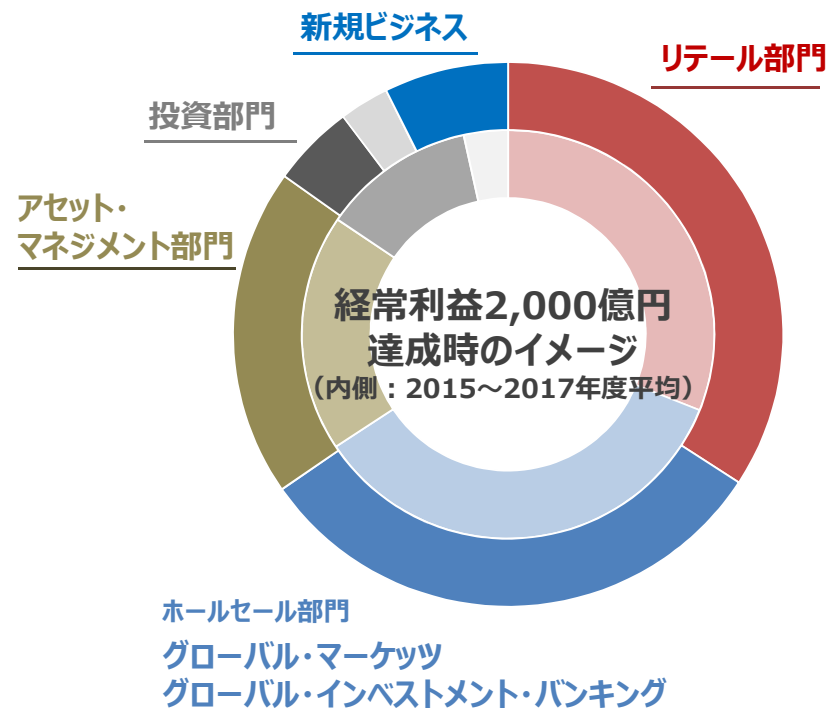


経常利益：2,000億円達成に向けた部門別増加イメージ

経常利益 部門別増加要因イメージ



経常利益 部門別構成比イメージ



2. 中期経営計画の概要

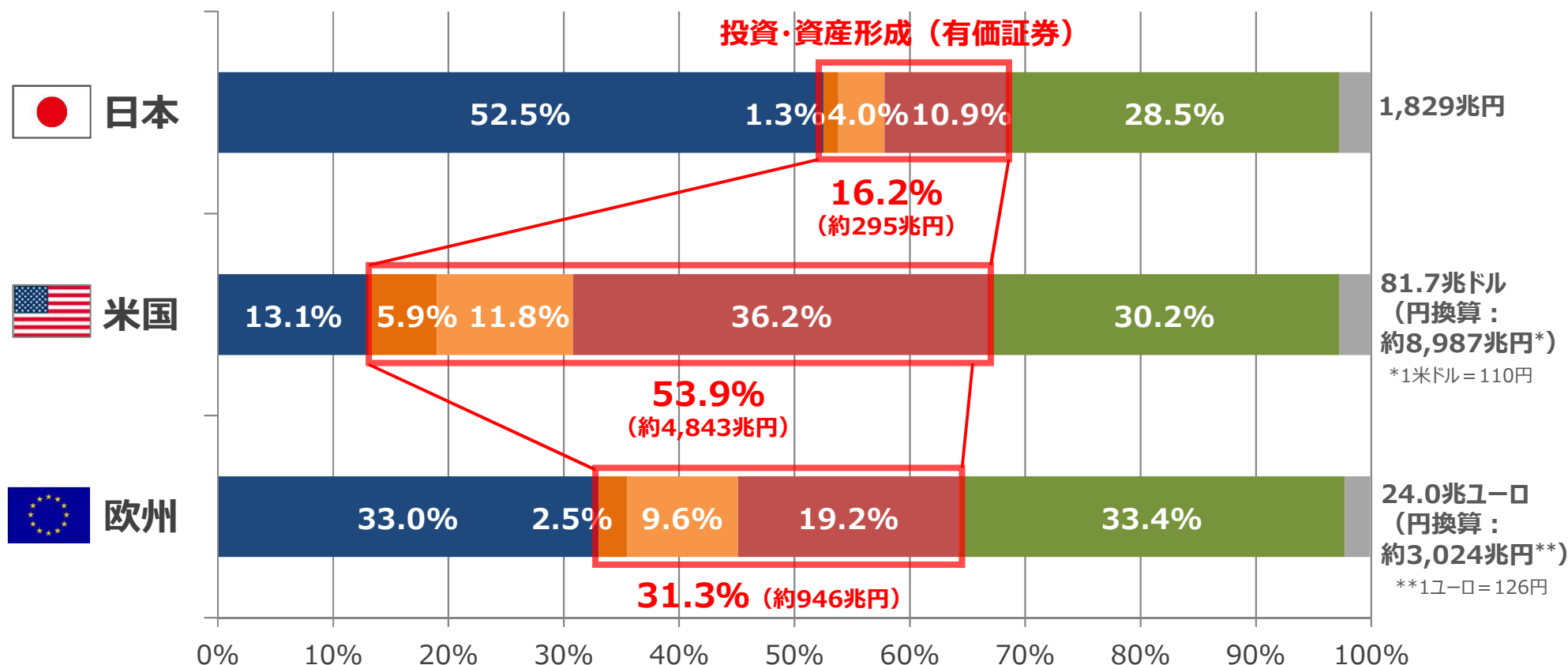
①クオリティNo.1の「付加価値」

Daiwa Securities Group Inc.

家計の金融資産の状況（日・米・欧）

- 家計の金融資産において、日本は投資（有価証券）より貯蓄（現金・預金）に偏る
- 「貯蓄から投資」が実現した際、資金の受け皿となる当社にとっては大きなビジネスチャンス

■ 現金・預金 ■ 債務証券 ■ 投資信託 ■ 株式等 ■ 保険・年金・定型保証 ■ その他計

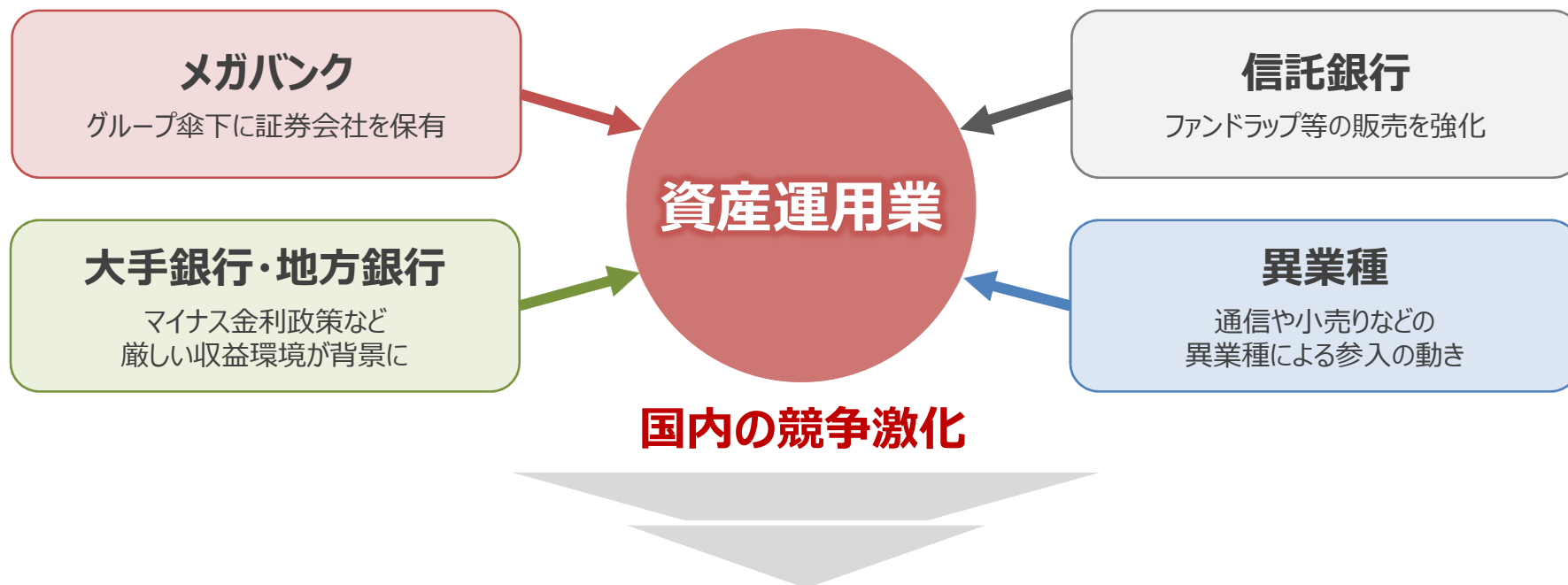


(出所) 日本銀行 (2018年3月末時点)

※「その他計」は、金融資産合計から、「現金・預金」、「債務証券」、「投資信託」、「株式等」、「保険・年金・定型保証」を控除した残差

国内の競争環境への対応

- 既存の金融機関だけでなく、通信や小売りなど異業種による証券業への参入の動き
- お客さまに最も選んでいただく証券会社となるために、「クオリティNo.1」の実現を目指す



お客さまに最も選ばれるベストパートナーとなるため、
業界における“クオリティNo.1”の実現を目指す

クオリティNo.1に向けた取り組み例

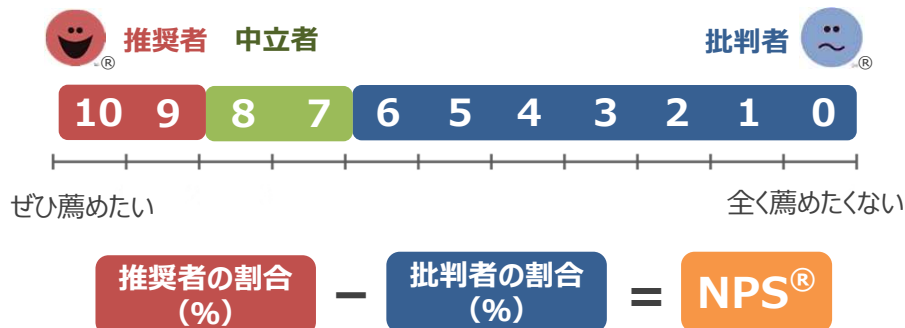
- お客さまから当社への評価として満足度（NPS®）を活用し、継続的な向上を目指す
- お客さまの多様化するニーズを捉えるべく、機動的な営業所を効率的に拡大

お客さま満足度の向上

お客さま満足度を「見える化」し、
社内で共有、継続的な向上を図る

大和版NPS®の導入

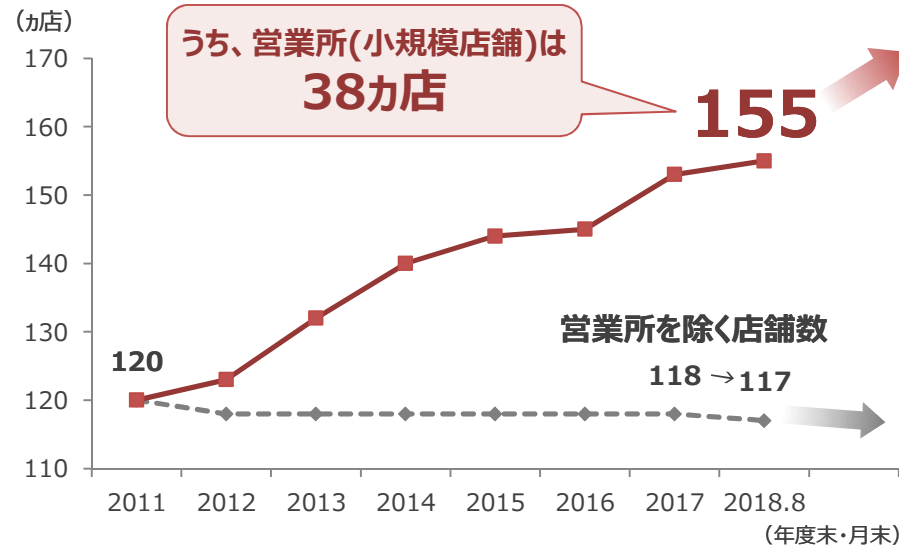
Q.ご家族やご友人から、「どの証券会社に口座を開いたら良いか」を
相談された場合、大和証券をご家族やご友人に薦める可能性は
どのくらいありますか？



お客さまとの接点拡大

低コスト・小規模な営業所をさらに拡大し、
お客さまとの接点拡充を図る

大和証券店舗数の推移



2. 中期経営計画の概要

②ハイブリッド型総合証券グループとしての「新たな価値」

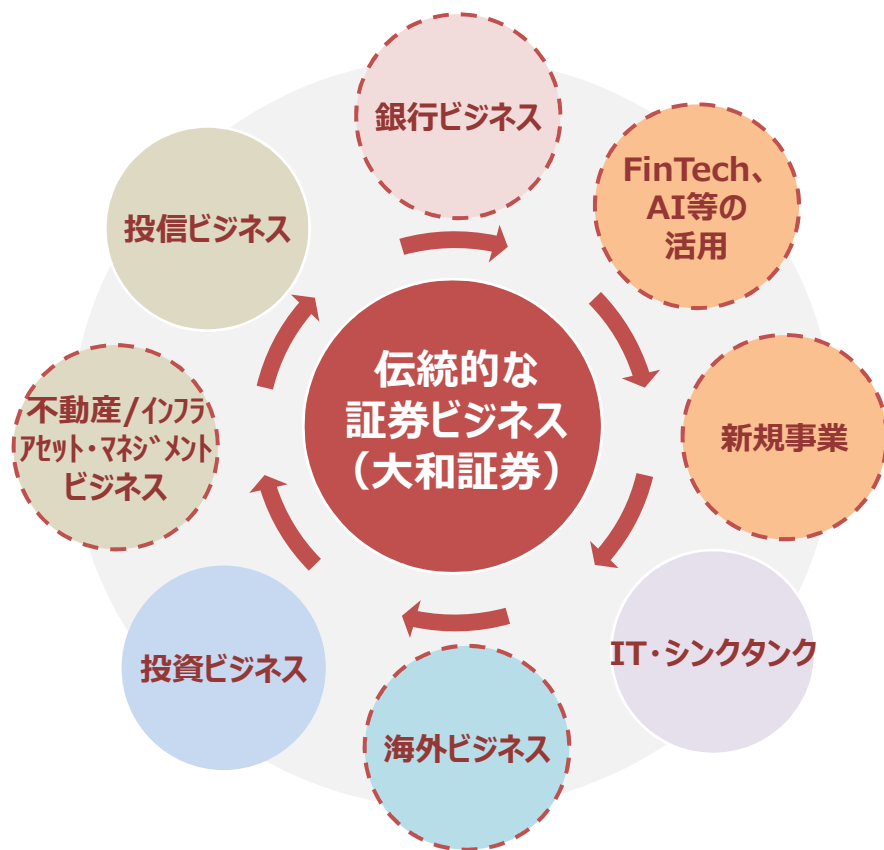
Daiwa Securities Group Inc.

伝統的ビジネスと新たな事業の有機的な連携

■ 「ハイブリッド型総合証券グループ」とは？

⇒伝統的な証券ビジネス×当社グループ内外の関連事業・新規事業への参入や活用

「ハイブリッド型総合証券グループ」イメージ図



インターネット銀行（大和ネクスト銀行）の展開

大和ネクスト銀行預金残高（2018年6月末）

⇒ 3.6兆円

不動産投資信託（REIT）の運用

REIT運用資産規模合計（2018年6月末）

⇒ 8,979億円

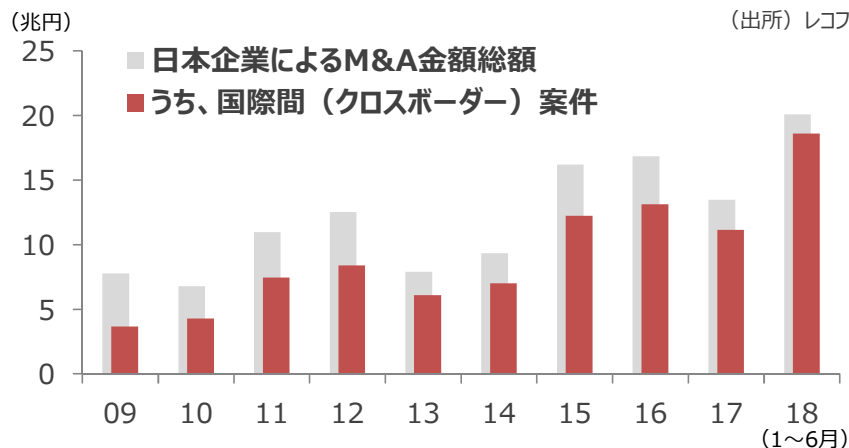
運用会社	投資法人名	投資対象	区分
大和リアル・エステート・アセット・マネジメント	大和オフィス投資法人	オフィス	上場
	日本ヘルスケア投資法人	ヘルスケア	上場
	大和証券レジデンシャル・プライベート投資法人	住宅・物流	非上場
	大和ホテル・プライベート投資法人	ホテル	非上場
ミカサ・アセット・マネジメント	日本賃貸住宅投資法人	住宅	上場
サムティアセットマネジメント*	サムティレジデンシャル投資法人	住宅	上場

* サブスポンサー

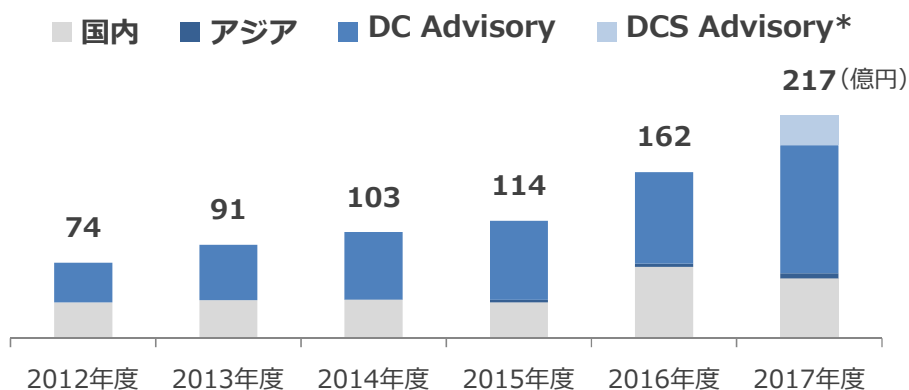
グローバルM&Aネットワークの強化

- 日本企業の内部留保や手元資金活用のためのM&Aニーズ増加に伴い、市場は拡大
- 中・小型案件獲得にフォーカスしたM&Aグローバルネットワークの強化を図る

M&A市場規模の拡大



当社グループ M&A関連手数料の推移



M&Aグローバルネットワーク



2017年9月・10月

SAGENT ADVISORS Signal Hill

米国において、M&Aアドバイザー会社2社
(セージェントアドバイザーズ、シグナルヒル) を100%子会社化

アジアの経済成長ポテンシャルの取り込み

- 東南アジア（アセアン地域）における経済成長のポテンシャルは依然として高い
- 現地の投資銀行・証券会社への出資を通じて、経済成長の果実を享受



ベトナムでマーケットシェア第1位の大手証券会社

SSI証券を持分法適用関連会社化

会社名	SSI (旧 Saigon Securities Inc.)	
本社所在地	ベトナム、ハノイ	
設立	1999年	



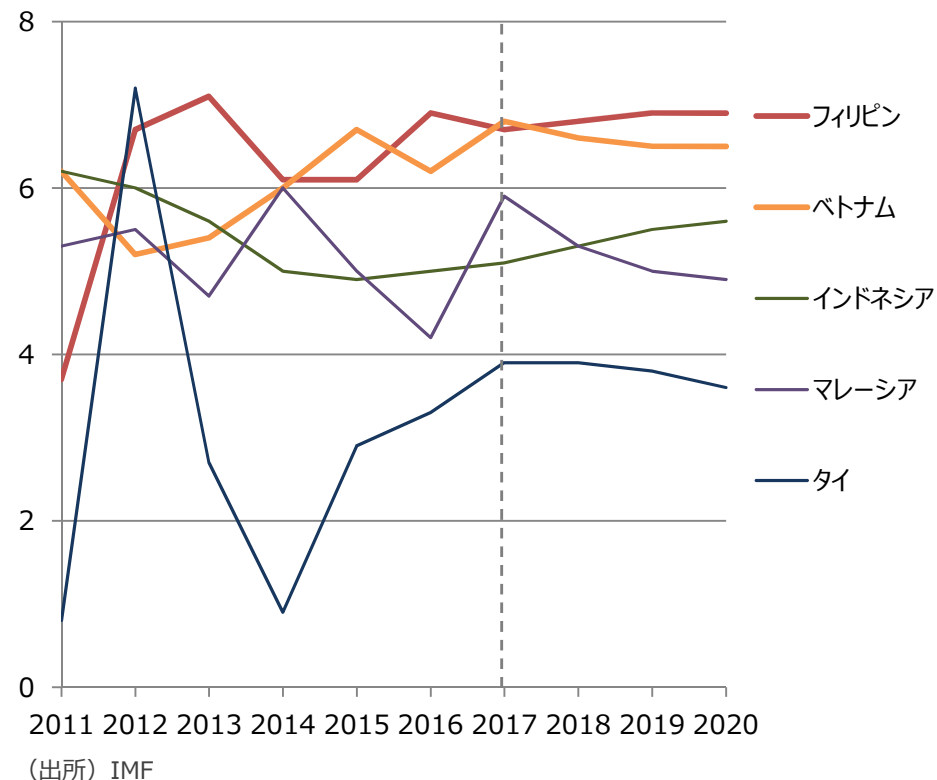
フィリピンでトップシェアを誇るオンライン証券会社

シー・オー・エル フィナンシャルへの出資

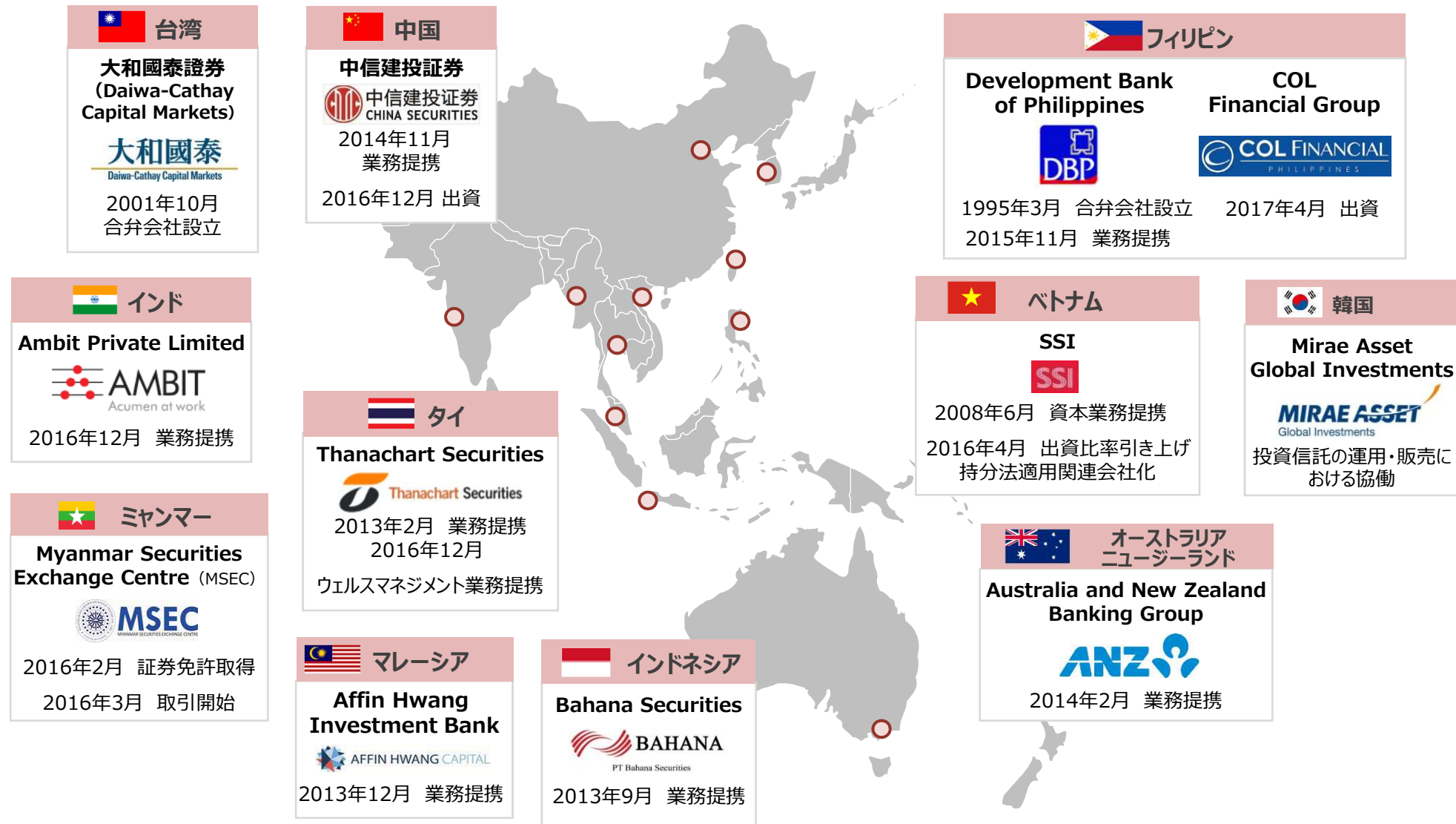
会社名	COL Financial Group, Inc.	
本社所在地	フィリピン、マニラ	
設立	1999年	

アセアンにおける潜在的な経済成長

(%) 実質GDP成長率（前年比） ※2018年以降は見直し



アジアにおける主な提携・出資先



外部企業との連携（次世代層の獲得）

- 外部企業との連携により、次世代層を中心とした幅広いお客さまとの接点を拡大し、新たな投資機会や新しい金融サービスを提供

KDDIとの資本業務提携

auユーザーに対する手軽な金融サービスの提供
新たな投資機会の提供による資産形成の普及を後押し

狙い・意義

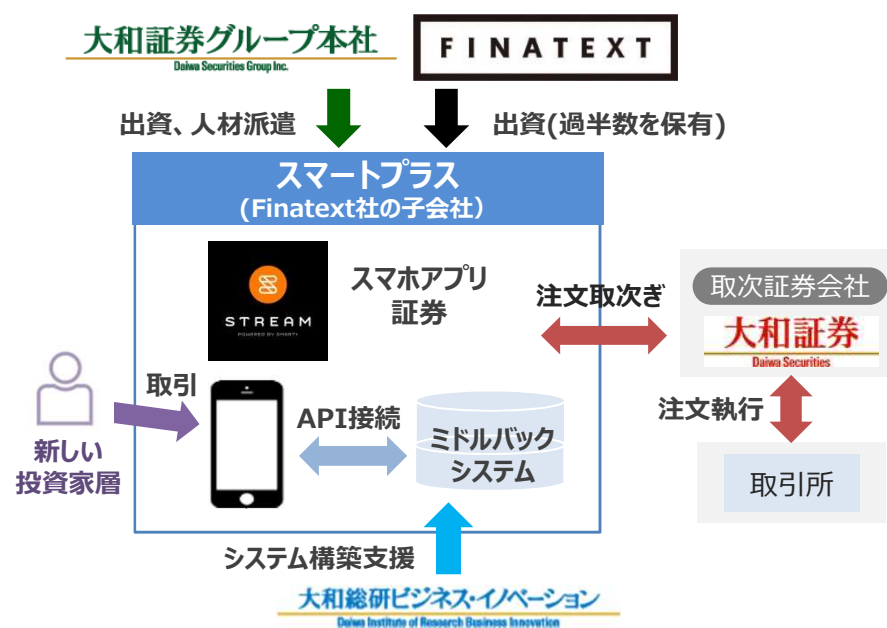
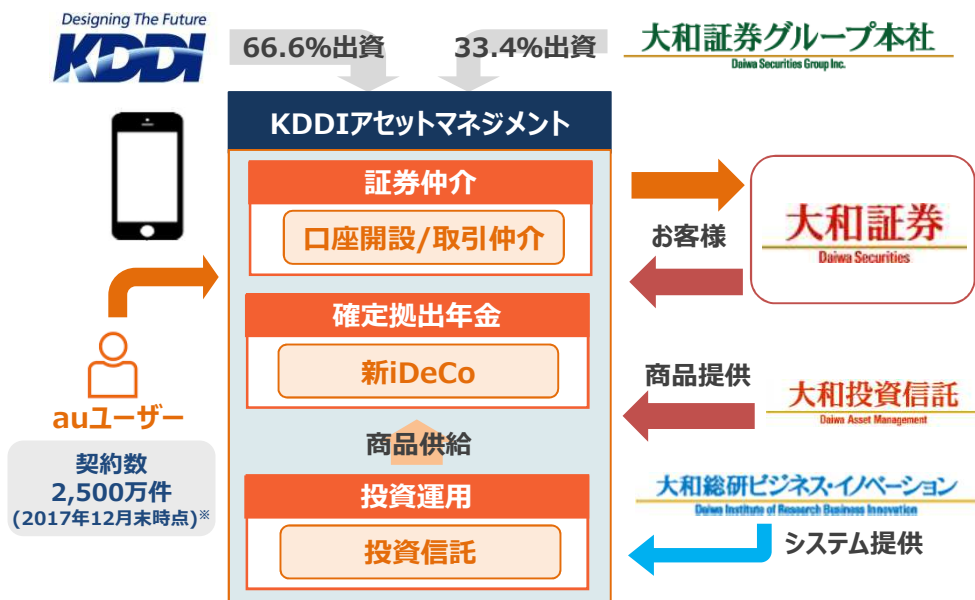
主に20～50代のauユーザーを含む投資家層

ターゲット

Finatext、スマートプラスとの協業

投資家の裾野の広がりと共に創る
新しい金融の価値を幅広いお客さまに提供

主に30～50代の新たな投資家層



次世代金融サービスの提供

- 金融手法の更なる高度化、外部連携によりデジタル・ネイティブ世代に応える次世代の金融サービスを提供

FinTech ～新会社の設立

次世代金融サービスの創出に向けた新会社を設立

フィンターテック
Fintertech

設立 2018年4月

資本* 8億円
*資本準備金含む

株主 大和証券グループ本社（100%）

事業領域例

デジタル通貨関連、クラウドファンディング等

Finance



Entertainment



Technology

証券・金融ビジネスのノウハウ

最先端のテクノロジー

デジタルチャネル

AI（人工知能）～マーケット情報の提供

最新ニュース情報に基づいたマーケット情報の提供ツール
「株talk」の導入（2017年12月～）話題の銘柄や
最新の株価材料をAIが
チャットでお答えします！

チャットを始める

大和証券の
ホームページ上にて
無料で提供Amazon Alexa（アマゾン アレクサ）に対応した
「大和証券マーケット情報」の提供（2018年2月～）

アレクサ、ニュースを聞かせて！

大和証券からマーケット情報をお伝えます。

- 月×日の日経平均株価は・・・



再生可能エネルギー事業の拡大

- 2018年7月、エネルギー・インフラ新会社の設立および太陽光建設ファンドの組成を発表
- 太陽光を中心とした再生可能エネルギー分野などへの投融資により、SDGs（持続可能な開発目標）に資する事業展開を拡大

エネルギー・インフラ新会社の概要

名称	大和エナジー・インフラ株式会社（DEI）
設立日	2018年7月27日
資本金	10億円（資本金5億円、資本準備金5億円）
株主	株式会社大和キャピタル・ホールディングス(100%)
事業内容	以下に関する開発、投資、融資、運営 ① エネルギー（再生可能エネルギー、バイオプロダクト等） ② インフラ（空港、上下水道、環境リサイクル施設等） ③ 資源（山林・立木等）

太陽光建設ファンドの概要

名称	ダイワGIグリーンファンド
ファンド設立日	2018年7月30日
アセットマネージャー	<ul style="list-style-type: none"> ・ GIキャピタル・マネジメント株式会社 ・ 大和リアル・エステート・アセット・マネジメント株式会社
ファンド出資者	株式会社大和証券グループ本社
ファンド出資約束金額	50億円
投資対象	国内の太陽光発電所グリーンフィールドプロジェクト

再生可能エネルギー利用発電所の事例（大和PIパートナーズ）



太陽光発電（三重県多気郡）



バイオマス発電（山形県米澤市）

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに11 住み続けられる
まちづくりを13 気候変動に
具体的な対策を15 陸の豊かさ
を守ろう7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに13 気候変動に
具体的な対策をSDGs
17のゴール

3. 社会への貢献

Daiwa Securities Group Inc.

SDGs（持続可能な開発目標）への取り組み

Passion for SDGs 2018

～大和証券グループSDGs宣言～

大和証券グループは、2015年に国連にて採択された「SDGs（Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」を、世界を牽引する重要な目標と捉え、当社グループビジネスを通じ、企業の経済的価値の追求と社会的課題の解決を両立することで、豊かな社会と国民生活の実現に積極的に取り組んでまいります。

● 共通価値の創造

さまざまなお客様のニーズに対応した幅広いサービスを提供する総合証券グループとして、既成概念にとらわれない柔軟な発想で社会的課題の解決に取り組むことにより、企業としての経済的価値と社会的価値を同時に創造していきます。

● ステークホルダーとのパートナーシップ

国、企業、投資家等を繋げる役割を担う当社グループの特徴を活かし、各ステークホルダーとのパートナーシップを通じて幅広い社会的課題解決への貢献を目指します。

● 多様な人材の育成と働き方の実現

ワーク・ライフ・バランスの推進、女性やベテラン層の活躍支援を始め、性別や年齢を問わず全ての社員が働きがいを感じ、能力を最大限発揮できる環境を作ることで、多様な人材の育成及び働き方の実現に取り組んでいきます。

● 認知度向上と浸透

金融・資本市場の担い手として、全役職員へSDGsの理解、浸透を図ると共に、当社グループビジネスを通じてお客様のSDGsへの認知度向上に貢献していきます。



SDGs（Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標））とは

2015年9月の国連サミットで採択された2030年までの国際目標。持続可能な世界を実現するために、17のゴール・169のターゲットを掲げています。途上国だけではなく、日本も含む先進国の在り方を問い、その取り組みの過程で“地球上の誰一人として取り残さない（No one will be left behind）”ことを誓っていることが特徴です。

本業を通じて幅広い社会課題解決に貢献

大和ネクスト銀行 「えらべる預金」

- 2017年11月より、大和ネクスト銀行が「応援定期預金」を含む「えらべる預金」の取扱いを開始



「応援定期預金」は支援先別に預金を設定金利は若干低めで差分を支援金として利用大和ネクスト銀行が上乘せして支援先にお届け

「平成30年7月豪雨災害
復旧応援定期預金」
取扱いを開始 (7/17~)



寄付金贈呈式 (2018年4月)

国立成育医療研究センター 賀藤病院長 (中央)
もみじの家 内多ハウスマネージャー (左)
大和ネクスト銀行 代表取締役社長 中村 (右)

「えらべる預金」
累計お預入れ

件数 : **1.3万件超**
金額 : **156億円**

「応援定期預金」
寄付総額

約118万円

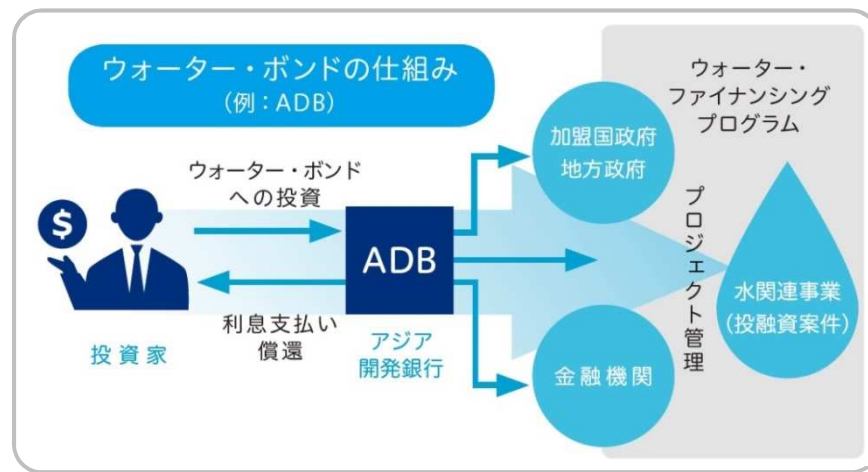
(2018年7月末時点)

インパクト・インベストメント

- 個人向けインパクト・インベストメント債券の
国内市場における大和証券シェア : **52%**

(大和証券調べ 2008年3月~2018年3月末現在)

事例 : ウォーター・ボンド (アジア開発銀行の場合)



その他の 債券例

- **グリーンボンド**
...環境に配慮した対応を行なう企業等をサポート
- **インクルーシブ・ビジネス・ボンド**
...BOP層*の人々の生活向上に役立つビジネスを支援
*経済ピラミッドの下層部 (Base of the Economic Pyramid)

企業市民としての取り組み



25周年目を迎える大和証券福祉財団

【2017年度までの助成実績（累計）】

	ボランティア活動助成	東日本大震災 ボランティア活動助成
助成件数	3,351件	247件
助成総額	7億7,545万円	1億173万円

- ✓ 1994年3月、大和証券の設立50周年記念事業として、企業利益の一部を社会に還元する目的で「公益財団法人 大和証券福祉財団」を設立
- ✓ 高齢者・児童等への支援活動等の社会的意義の高いボランティア活動を行っている団体・グループに対して毎年助成を実施

子どもの貧困問題への取り組み

- 「大和証券グループ 輝く未来へ こども応援基金」の創設
(公益財団法人パブリックリソース財団) 2017年9月～
...5年間で当社グループから総額1億円程度の寄付を想定



【支援先】
SOS子どもの村JAPAN
PIECES

こども応援基金授与式の様子 (2018年1月) Learning for All

金融・経済の学習機会の提供

- 各種ウェブサイトの運営

<10代の方向け> edu.daiwa.jp



<子育て世代の方向け>
www.daiwa.jp/sodatte



- 金融教育テキストの作成・「おしごと年鑑」への協賛



すべての社員が「働きがい」を感じられる企業を目指して

2017年以降、新たに実施した人事施策の例

- **若手社員の活躍支援**：「奨学金返済サポート制度」の導入（2018年8月～）
- **女性活躍支援**：「ワーク・ライフ・バランス委員会」の発足
- **ベテラン層の活躍支援**：営業職の再雇用年齢の上限を撤廃
- **仕事と介護の両立支援**：介護休職制度の拡充、「介護コンシェルジュ」の導入、在宅勤務制度の導入など
- **仕事とがん治療の両立支援**：「ガンばるサポート ～がん就労支援プラン～」の導入

ワーク・ライフ・バランス（WLB）の推進



「家族の職場訪問」
社長との名刺交換



日比野会長、中田社長を
共同委員長とする
「ワーク・ライフ・バランス委員会」を発足

健康経営の推進



「健康経営推進会議」の開催



社員の健康づくりを促進



4. 株主還元

Daiwa Securities Group Inc.

株主還元の位置づけ

- 「成長投資の実行」、「資本効率性の向上」、「財務健全性の堅持」、「株主還元の強化」のバランスを図ることで、健全な利益の確保を通じた持続的成長を実現



株主還元の更なる拡充（配当政策の変更）

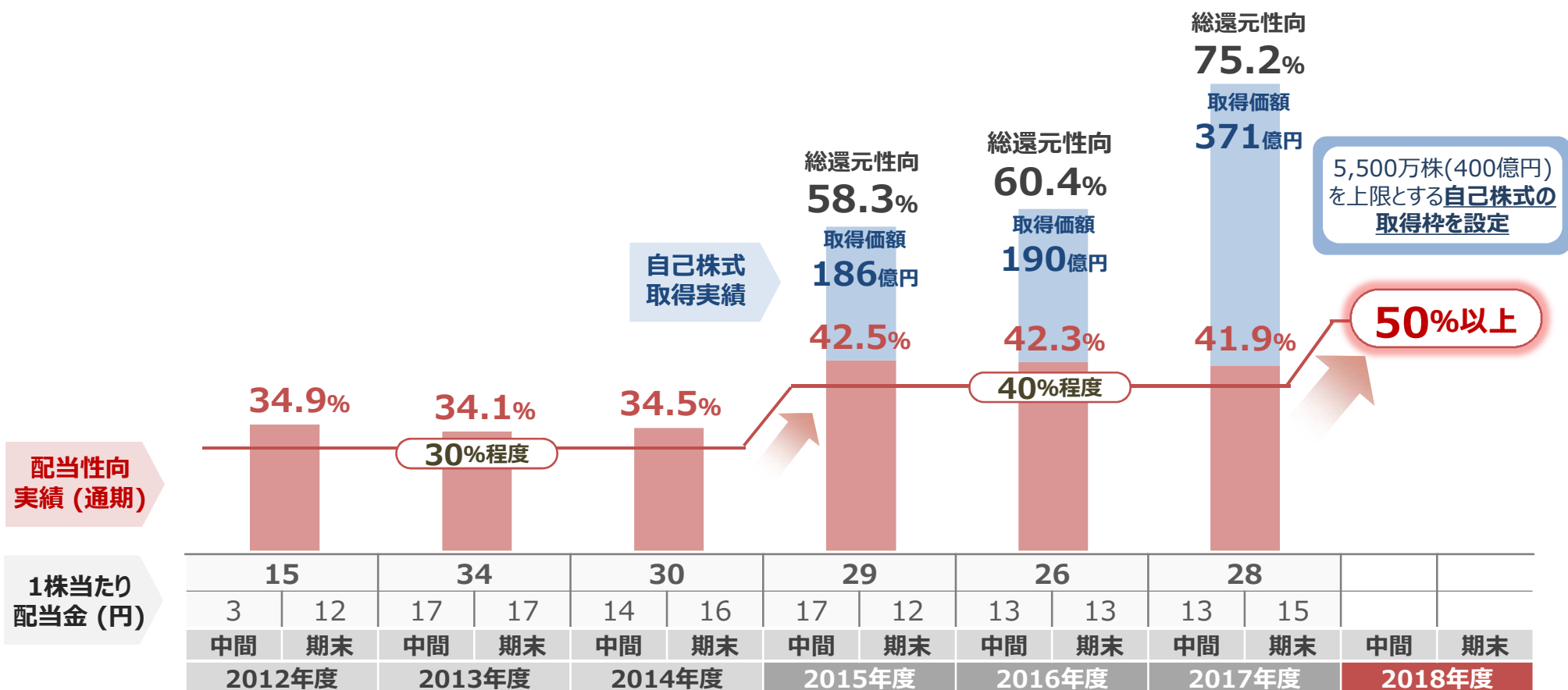
2017年度の株主還元 実績

配当

28円（中間配当13円、期末配当15円）、配当性向41.9%

自己株式の取得

取得株式総数：5,200万株、取得価額総額：約371億円



株価と配当利回り



株主優待制度の充実

- 株主優待品カタログから、好きな優待品をお選びいただける株主優待を年2回実施

3月末と9月末の株主さまを対象に株主優待を実施（年2回）

保有株式数	選べる優待品	株主優待品カタログ (50品掲載)	掲載優待品一例（2018年3月末優待）
1,000～2,999株	1点	2,000円相当	   <p>宮崎県産黒豚と黒毛和牛合挽きハンバーグ</p> <p>錦松梅</p> <p>とらや 小型羊羹</p>
3,000～4,999株	2点	4,000円相当	   <p>蔵王牛 すき焼き</p> <p>かねふく からし明太子</p> <p>銀座 レ ロジェ エギュスキ ロールアイス</p>
5,000～9,999株	1点	5,000円相当	
10,000株以上	2点	1万円相当	

参考資料

Daiwa Securities Group Inc.

IRウェブサイト

【URL】 <http://www.daiwa-grp.jp/>

刊行物

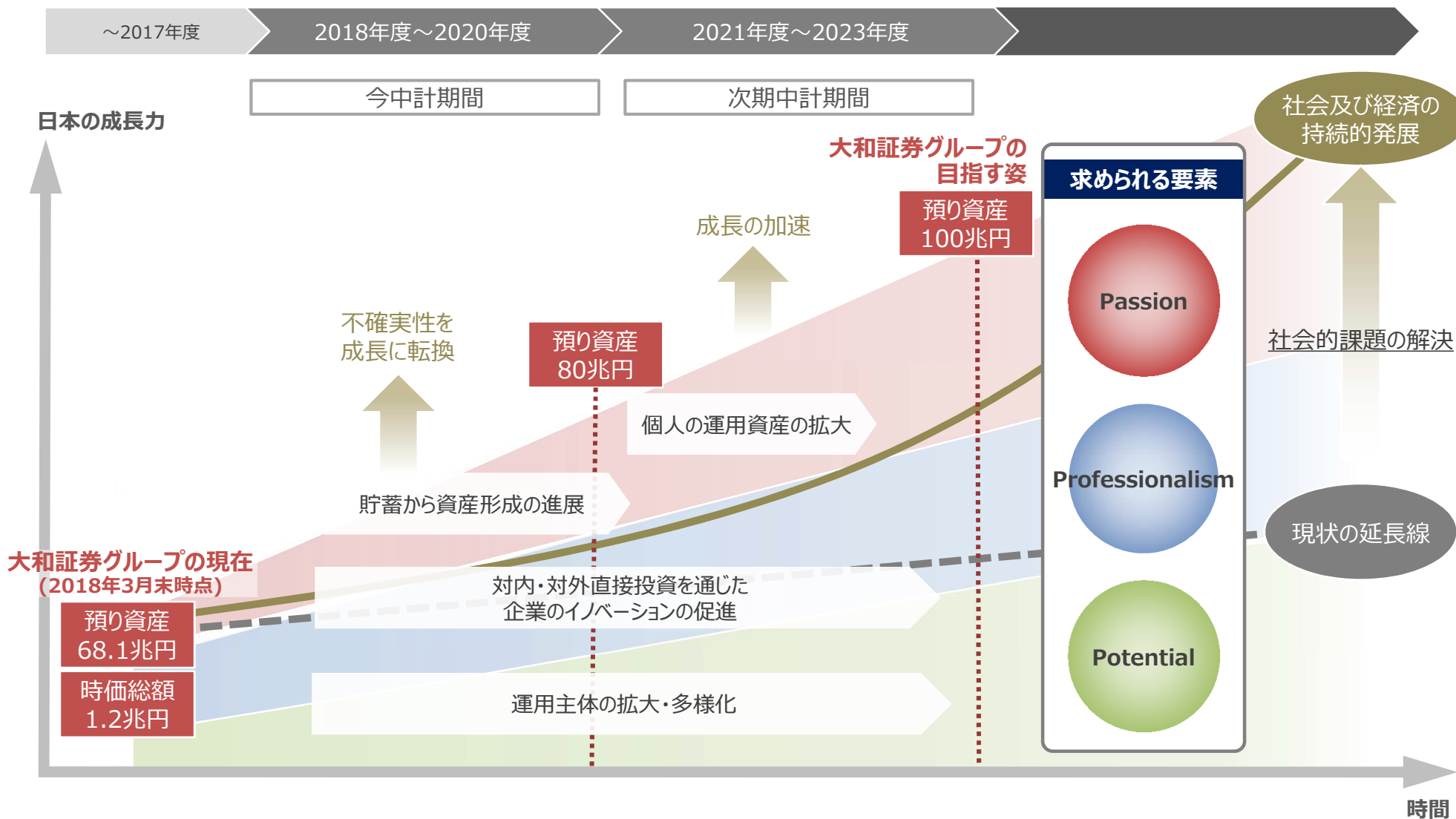
アニュアルレポート（統合報告書）



ビジネスレポート（株主さま向け）



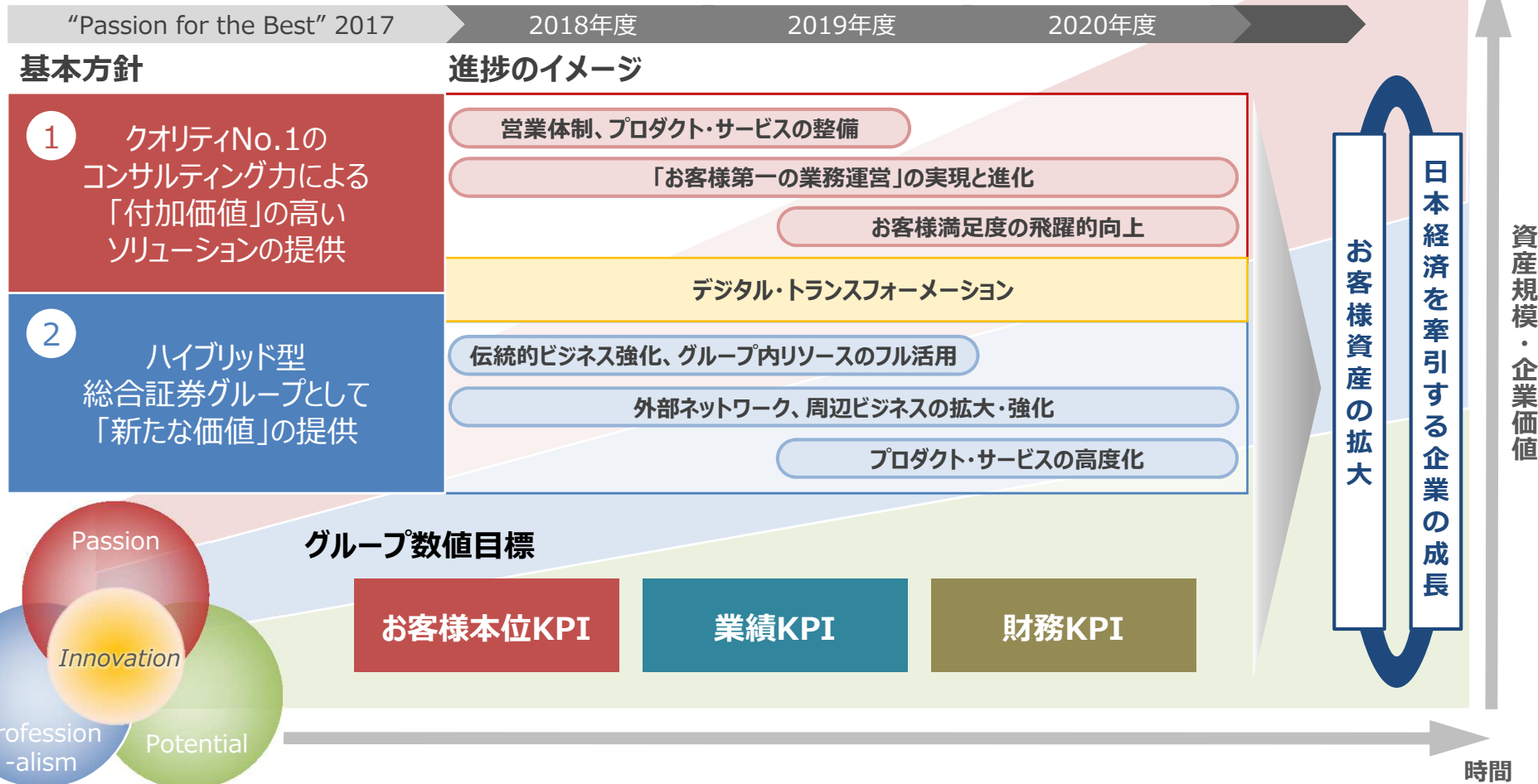
大和証券グループが目指す未来のイメージ



中期経営計画（2018年度～2020年度）の骨子

“Passion for the Best” 2020

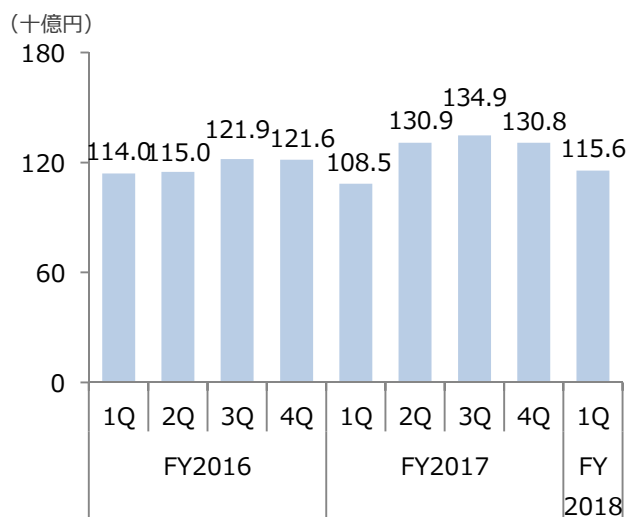
未来を創る、金融・資本市場のパイオニア



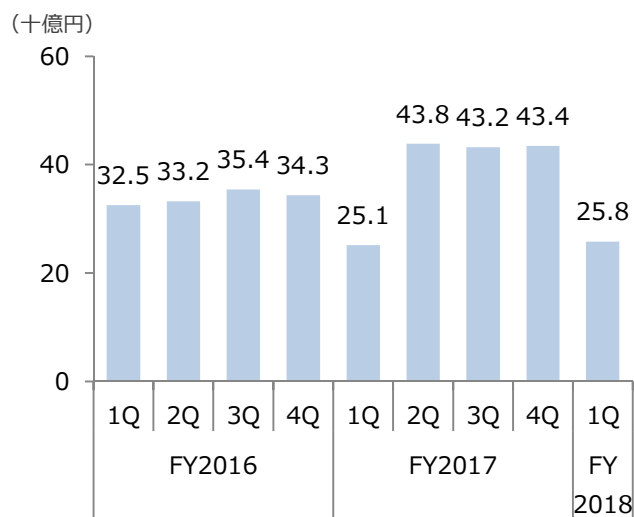
決算の概要 (2018年度第1四半期)

(百万円)	純営業収益			経常利益			親会社株主に帰属する純利益		
	2017年度	2018年度	増減率	2017年度	2018年度	増減率	2017年度	2018年度	増減率
	第4四半期	第1四半期		第4四半期	第1四半期		第4四半期	第1四半期	
リテール部門	54,573	50,609	-7.3%	12,312	9,894	-19.6%			
ホールセール部門	47,135	39,798	-15.6%	13,252	6,996	-47.2%			
グローバル・マーケット	33,616	28,078	-16.5%	11,228	5,849	-47.9%			
グローバル・インベストメント・バンキング	13,518	11,719	-13.3%	1,760	823	-53.2%			
アセット・マネジメント部門	12,587	12,268	-2.5%	7,292	7,488	2.7%			
投資部門	5,359	2,435	-54.6%	4,377	1,760	-59.8%			
連結 計	130,886	115,606	-11.7%	43,477	25,860	-40.5%	36,581	18,534	-49.3%

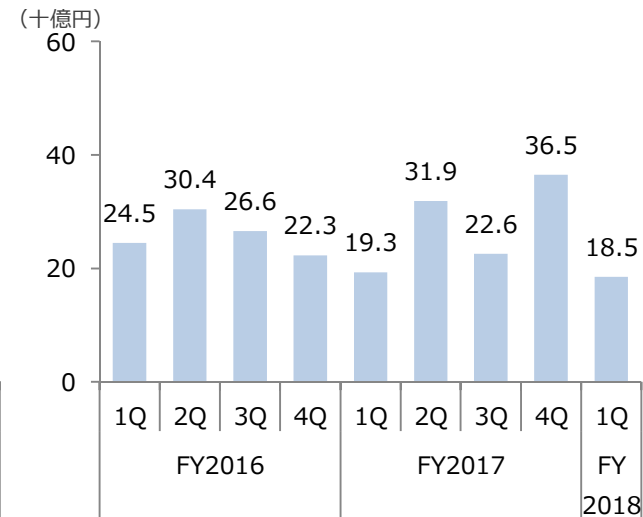
純営業収益



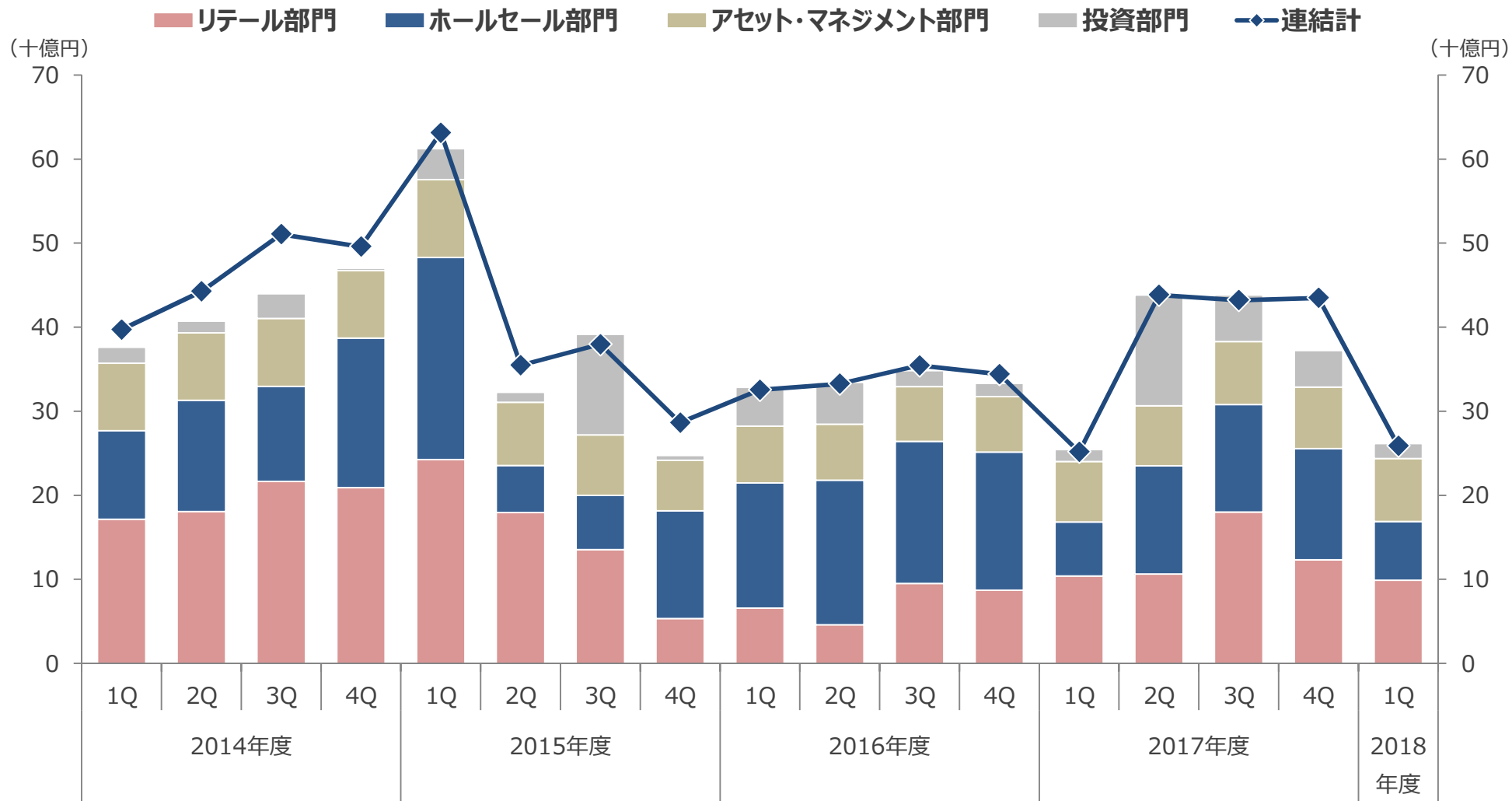
経常利益



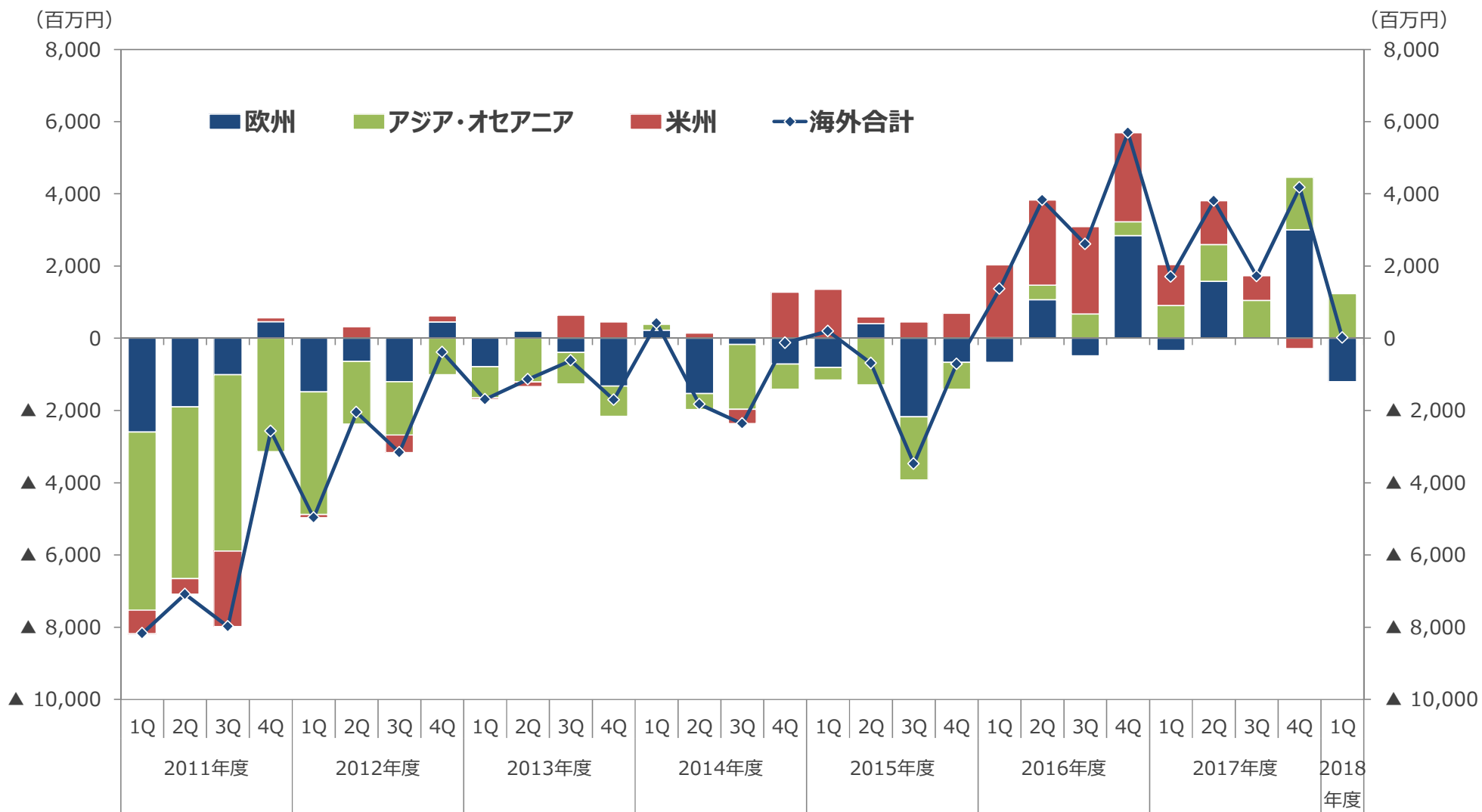
親会社株主に帰属する純利益



部門別経常利益の推移



海外部門別経常収支の推移



指数への組入れ

FTSE
Blossom Japan Index



MSCI
日本株女性活躍指数(WIN)

Bloomberg
金融サービス企業男女平等指数



2年連続で選定

GRESB Survey
GRESB 2017 "Green Star"



6年連続で獲得 (大和証券オフィス投資法人)

FTSE
グッド・インデックス



12期連続で採用

米国ダウジョーンズ社・RobecoSAM
DJSI World / Asia Pacific



7年連続で採用

外部機関からの表彰等

なでしこ銘柄
(女性活躍推進に優れた企業)



4年連続で選定

健康経営銘柄/健康経営優良法人



4年連続で選定/2年連続で選定

子育てサポート認定事業主マーク



厚生労働省

**「仕事と介護を両立できる職場環境」
整備促進の為にシンボルマーク**



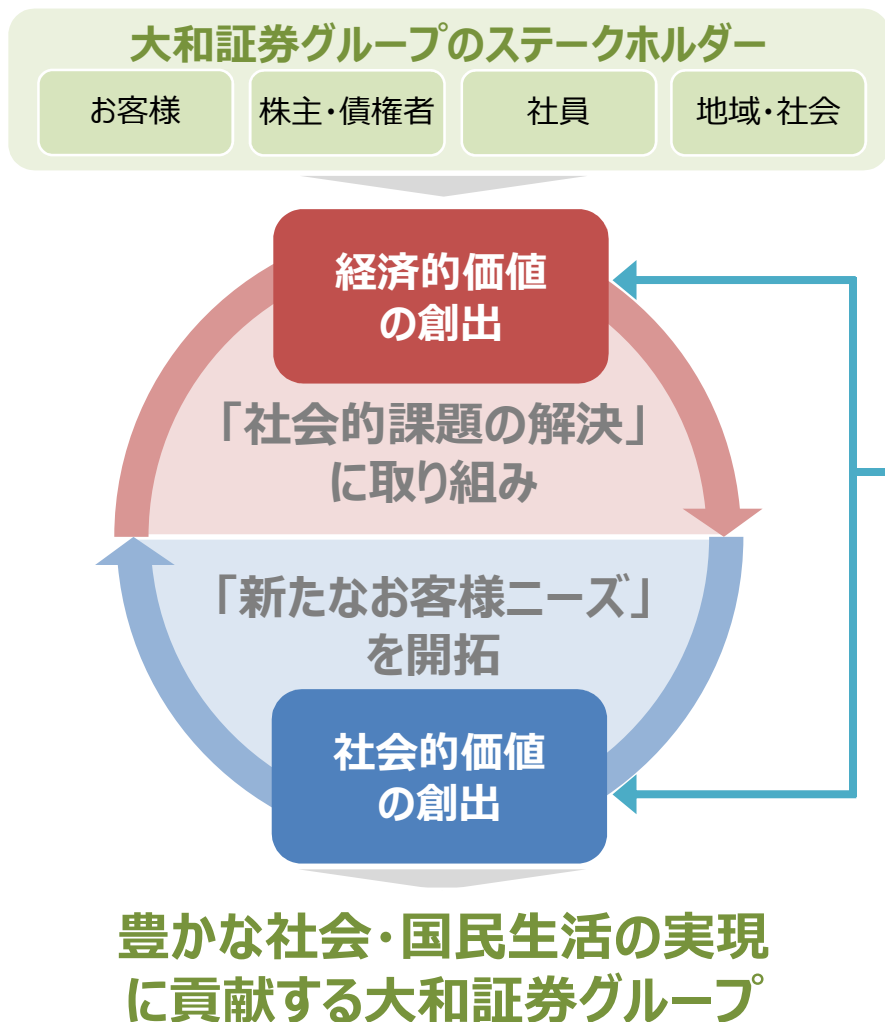
厚生労働省

**2018年「女性が活躍する会社
BEST 100」**

**「女性活躍推進度」
部門：3位**

日経WOMAN
日経ウーマンミクス・プロジェクト

共通価値（Shared Value）創造のサイクル



SDGs（持続可能な開発目標）への取り組み





大和証券グループ本社 IR室

TEL: 03-5555-1300 FAX: 03-5555-0661

E-mail: ir-section@daiwa.co.jp

URL: <http://www.daiwa-grp.jp/ir/>